

社会人のための情報システム誌
— 経営近代化のシステム研究 —

Computer Report

9

2011 No.684

3 はじめの言葉

4 9割を無視して1割で論じる

情報処理能力のお粗末さ

田原文夫

円高がどうにも止まらない。経済に詳しいとマスコミが称する先生方によると、先月の段階では、原因はアメリカ政府の国債発行限度額の問題だとされてきた。そのメドが付いたとされながらも、ドル安は一向に収まらない。このドル安に連動してニューヨーク証券市場のダウは、下げに下げを繰り返し 12000 ドル代から 10000 ドルまで下落した。一方、日本市場では「円高のため株価が低迷している」と解説されているが、経済に詳しい先生方、専門家諸氏の言うことは本当に解らない。一国の通貨の為替レートが上がれば株価は上がるのか、あるいは下がるのか。説明になっていないとはこのことである。マスコミも、円高が打撃を受ける輸出業者の話だけを取材し報道しているが、石油／ガス／電力など原材料である原油を輸入している業者の関連報道はなりを潜めている。これはどうしたことか。ほんの一部のテレビ報道があったが、「原油価格が上がっているので円高差益は吹き飛んでいる」という石油会社の担当者のコメントを垂れ流しているだけだった。一時、1 バレル 100 ドルを越えていた原油も、最近では 83～85 ドル代で推移しているし、このコメントが真っ赤な嘘であることは言うまでもない。これも、石油／ガス／電気という、公共事業企業の広告圧力に負けている既存マスコミの誤った姿として指摘できる。奇しくも、ヤラセ報道が取り沙汰される東京電力はじめ全国的な電力会社が行っている一連のマスコミ対策の流れだと言ってだろう。

11 情報社会を考える その12

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

日本国民の最大の関心事である福島・宮城両県の放射線汚染のモニタリング作業がおろそかにされたまま、新潟県でも観測不能となった。ヨウ素に比べたら重いとされるセシウムだが、その重さは花粉の 1 兆分の 1 である。国民には依然として、正しい情報公開がされていない。何かと言えば「言論の自由」だ、「国民の知る権利だ」を標榜する既存マスコミだが、本当に国民の言論を守り、国民の知る権利に込んでいるだろうか。奇しくも、一タレントがネット上でツイートしたツビヤキがもとで解雇される事件が起きた。ネット上の読者たちは敏感に反応した。抗議行動も呼び掛けられた。しかし、既存マスコミはこれを報道せず、無視をした。既存マスコミは他人の言論の自由をどう考えているのか。

福島／宮城に続き、新潟県でも計測停止

1 5 日本再生／世界競争力回復のカギ

何故 M-B I M構築が必要か その7

水田 浩

BIM 事始め

BIMは Building Information Model の略である。建造物の生涯＝ライフサイクル（計画、設計、施行、保守、廃棄まで）を通じて生産効率、コスト効率、可用効率、利便効率などの最大化を実現する方法論として注目されているものである。文字通り、全世界的／全地球規模で注目を集めているテーマでもある。このテーマに最初に挑戦したのは、アメリカである。アメリカ政府および州政府の建屋コストに直接関わる問題だからだ。言うまでもなく、どの国の政府、地方自治体でも財政難に苦しんでいる。まさに、各国が直面している共通課題である。本欄で紹介解説してきている BIM は、この各国政府、自治体の悩みに直接対応できる統合テクノロジーとして今、改めて業界業者の間で注目を集めているのだ。BIMは、建造物を構成する物理的資源の管理に止まらず、建物に設備される様々な情報資源管理までをカバーするものである。このことは、世界中の政府／地方自治体が、目指している近未来の電子政府／電子自治体の有り様にも直接影響を及ぼすものと言える。ちなみに、BIMに基づく建造物建設には、エネルギー産業、物流業、福祉サービス業から ICT 産業に至る、あらゆる業界業者が関わるビッグプロジェクトとなる。従来の政府／自治体の建造物建設に大革命をもたらすテクノロジーとして注目されている。

2 1 連載 アーキテクチャ論 (5)

アーキテクチャメタモデル

山本修一郎

本稿では、まずソフトウェア集約的システム (Software-intensive Systems) に対するアーキテクチャ記述への推奨プラクティス (IEEE Std. 1471-2000[1]) の用語定義例を紹介する。次に、この用語に基づくアーキテクチャ活動プロセスについて 2010 年に出版された書籍 [2] を参考に、アーキテクチャメタモデルについて解説する。

2 8 Android 端末を検証せよ その2

ビジネス分野で今すぐ使うための考え方

aism

どこにでも新しもの好きはいる。また、Android OS が注目されていることも確かである。かといって、藪から棒に採用し、既存システムに組み入れて良いというわけではない。それが、aism メンバーによる Android 検証の立ち位置である。しかしせっかちな上司の要求で、不安定な Android 環境で独自のアプリケーション開発を強烈に迫られているシステム担当者が出てきている。改めて問題点を整理してみた。

3 3 続インテリジェンスへのいざない 21

インテリジェンス情報の

創造時における倫理性

今井 武

テレビ放送から一般新聞まで、トップニュースとして扱われた島田紳助の芸能界引退宣言。奇しくも時を同じくした民主党新代表戦という一大イベントを、完全なまでに喰ってしまった。平和な国ニッポンを象徴しているような話である。もしそれが、本当に我が国の国民的コンセンサスであり、国民の一番の関心事だとしたら、それこそ大問題である。

北はロシアが、南では中国が、そして日本海では韓国が、日本の領土を侵す行動をとっている最中に、国の新政権を選ぶイベントよりも、一芸人の引退会見を優先しているということは、まさに憂国の事態と言わざるを得ない。しかも、国を代表するマスコミのテレビ各局、大手新聞までが揃い踏み興行としてトップ報道しているのだから、呆れてものが言えない。事件の根源は、「コンプライアンスすなわち社会的要請に応える」という姿勢を問われての騒動である。芸能界と暴力団の繋がりについては、非常に歴史のある話で、いかに暴力団との関係を絶つことが今日の「社会的要請（コンプライアンス）」であると言っても、口先だけで言うのは簡単だが、その実現は一朝一夕でできる話ではない。今ひとつ気になるのは、自筆で書かれたとされる書簡の存在である。いかに警察当局と言えども、暴力団と一芸人の間で取り交わされた個人的な私信が、そう容易く入手されていいものではない。もちろん引退会見で明らかにされたことが全てだとは到底思えない。これも気掛かりだ。多くの事実が隠されていると考えるべきだろう。警察当局が、この私信をもとに、芸能事務所である吉本興業にどういった圧力を掛けたかも、大いに気にかかる。さらに不可思議なことは、コンプライアンスを盾に一般企業に暴力団との関係を絶てと要求している警察当局が、自ら反社的勢力だと指定した暴力団の存在を放置している当局自身の姿勢である。「隗より始めよ」である。まず警察当局の行動が先にあるべきである。

3 7 IT新時代とパラダイム・シフト

第24回 中国発の山寨革命の衝撃

根本忠明

世界の工場となった中国で、大きな革命が引き起こされている。そのベースになっているのが、パクリ技術による安価で高性能な携帯電話である。その中国のパクリパワーの次のターゲットは海外進出で、積極的な行動力は、すでに世界市場に大きな影響をもたらしている。そしてさらなる一手は、着実にスマートフォン市場にあるようだ。

4 0 一味違うウェブ検索

第十四 同義語・類似語をチェックする

ぐうのうえぶへい

前回、ネット検索で思わぬ落とし穴にはまることなく、もとめる真実に近づくことができる検索に有効な「シソーラス」とは何かを説明した。今回は、検索内容をさらに深掘りしていくための、系統的なキーワード検索の考え方、アプローチとしての同義語・類似語のチェックについて説明してみよう。

4 2 連載 しすてむこらむ

- IBM、ビッグデータを Web 上で簡単分析
- 富士通、クラウドで解析シミュレーション
- 大林組/NEC、BIM クラウドで提携

4 5 連載 ことわざ笑タイム

すぎやまチヒロ

セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで
株式会社 日本経営科学研究所
ComputerReport編集部

cr-info@jmsi.co.jp

CR 選書のご案内

CR選書

改訂版
データ・ウェアハウス

定価 本体 2,816円+税 送料(〒300) A5版 289頁

石井 義興 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 目録が必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータ・ウェアハウスのサポート
第二章 データベースとデータ・ウェアハウスの構造と	第八章 データ・ウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータ・ウェアハウス	第九章 データ・ウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとネステッド・リレーショナル・モデル	第十章 データ・ウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正規化の問題点とデータ・ウェアハウス	
第六章 データ・ウェアハウス管理システム	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

実践データ・ウェアハウス OLAP

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A5版 249頁

豊島一政・木村 哲 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 これまでのEUCIにできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構造
第三章 Code博士によるOLAPプログラムの評価ツール	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析処理の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

消費者行動論

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 181頁

田原文夫 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意志決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動トピックス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動トピックス)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

aism 研究活動報告
インターネットセキュリティの落とし穴

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 197頁

一橋大学教授 安田 聖 監修
aism情報セキュリティ・マシントリプル研究会 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM、KLEZの監視と駆除
第二章 aism情報セキュリティマシントリプル研究会の発足	第十二章 メールが通らない
第三章 認知される電子署名方式の基本原則	第十三章 生体ネットワークのための情報オーナーの建設
第四章 世界を駆けめぐったCodeRedワーム	第十四章 最近のインターネット防衛セキュリティ対策
第五章 情報システムにおけるリスク	第十五章 ITガバナンスの意識と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 VPN(バーチャルプライベートネットワーク)	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第八章 aismの2011年度の事業計画	第十八章 セキュリティポリシー作成にあたってのノウハウ
第九章 情報セキュリティ情報研究会の発足と課題	
第十章 インターネット関連の苦情と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

エンタープライズ情報システム設計の基本書！
トップ主導の情報システム革新

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 271頁

高田 顯重 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 変化対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

計量モデルの構造と解法
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 213頁

安田 聖 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分解方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方型式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計算方法	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

『いざ！というときの得広報』
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,748円+税 送料(〒300) A5版 228頁

加藤 洋一 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

■ 広報ビジネスの前提条件	■ 売定文化企業体質
■ ニュースリリースは東方向運賃	■ 守るも攻めるも広報が窓口
■ 活字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック	<付> 記事とうまく付き合うための鉄則(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

ザ・ワールドリンク
がんばれ、国際グローバルサーバー
IBM社に挑んだ国際情報システム作りの物語

定価 本体 1,848円+税 送料(〒300) A5版 268頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 発端	第十一章 日本開港法の違い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 米軍チーム撤退の危機
第三章 新しいシステムへの働き	第十三章 新たなメンバー
第四章 WOOIに向けて	第十四章 米軍撤退所帯と新たな組み
第五章 FJO、IBM戦争	第十五章 開港場建設とバレンタイン
第六章 日本プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本運用体制と本番後日誌
第八章 米軍チーム立ち上りの流れ	第十八章 既存システムとのデータ交換の問題
第九章 大きな壁、英語コミュニケーション	第十九章 稼働その一 直前、稼働、直後の苦しみ
第十章 米軍チーム、異なる三人組	第二十章 稼働その二 安定期間と北米センター移設

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp